

第149号（令和7年9月28日）

いしかり手打ちそば同好会 初版発行：平成20年9月13日

〒061-3283 石狩市花畔3条1丁目252

URL: https://blog.goo.ne.jp/it_soba

第30回幌加内町新そば祭り FINAL

幌加内町新そば祭りは今年第30回目をもちまして終止符が打たれました。

当同好会が幌加内町新そば祭りに参加したのは、平成16年（2004年）が最初です。この祭りに出店していた「白樺」の応援として参加してきました。以来、新型コロナウイルスで開催が中止となった令和2年（2020年）～令和4年（2022年）の3カ年を除き毎年参加してきました。



令和5年（2023年）からは「白樺」の後を引き継ぎ、新たに「石狩蕎麦工房」として自前で出店しました。

白樺の応援の時は、主に製麺（打ち手）だけだったものですから、初めての出店は、ノウハウが全くない状態でした。製麺だけはノウハウがありましたが、お金をもらう、「石狩」の看板があるなど、製麺へのプレッシャーは一層大きくなりました。



また、店での受付、茹で、盛り付け、配膳などすべて初めて行わなければならないので、ドタバタ、

右往左往、四苦八苦、エーイヤッ……どの言葉がしっくりくるかわからないほど準備から終了までテンヤワンヤでした。終了後の役員会での反省では各部署からの問題点が山積していました。

2年目の令和6年は、これらを踏まえて臨みましたが、1日目は雨天でぜんぜんお客が来ない状態。2日目は晴天で何とか盛り返し、2日間合計で1,348食を売り上げましたが、最終的には赤字になりました。

3年目の今年はファイナルということもあって、いつもの年以上に来場者もありました（主催者発表8万人）。「石狩工房」というと、開店から長蛇の列、多いときは100人以上並んでいました。1日目は午後2時に完売。2日目は終了の時間まで列が途切れないほどの盛況でした。



2日間で2,419食。打ち場、店舗、宿泊のお寺、それぞれの持ち場が円滑に運営されていた結果だと思います。また、皆さんからの差し入れは、疲れた体にエネルギーを与えてくれました。ありがとうございました。感謝!!

21年、18回に亘ってこの祭りに係わってきたので感慨深いものがあります。会員皆さんからの思い出を聞いてみました。



森 下 隆 平

2日間にわたって開催された「幌加内町新そば祭り FINAL」の来場者は、2日間で合計8万人にのぼり、大変な賑わいとなりました。私たち「いしかり手打ちそば同好会」は“石狩蕎麦工房”でお蕎麦の提供をしました。

1日目は955食、2日目は1,464食と、予想を大幅に上回る皆様にお蕎麦を召し上がっていただきました。天候にも恵まれ、多くのお客様が途切れることなくブースに訪れ、スタッフ一同対応に追われました。当初目標1日1,000食でしたが、2日目には食数が予想を超えたため、急遽そば粉、器を購入しました。

30名体制での運営でしたが、ほぼ休憩を取る時間もなく、スタッフは一丸となって対応しました。お客様より「美味しかった」「また食べたい」といったご好評の声も多数いただきました。運営面では課題も見えましたが、次回への改善点として生かしてまいります。



木 村 泰 夫

“幌加内新そば祭りの振り返り（あっぱれ・喝）”

- 成田さん、森下さんによる器材、備品の下準備、用意のお陰でそば祭り滞りなく終了する事が出来ました有難うございます。あっぱれ

- 大西さんを中心とした名称「クッキーズ」2日間の夕食（酒のあて等）朝食、昼食大変美味しかったです。カー杯働くことが出来ました。

あっぱれ²



- 佐々木、藤井リーダー二班体制によるえびの天ぷら（2度あげ）お客様から「美味しかった」と好評で売り切れ販売。あっぱれ²
- はるばる瀬棚から応援に駆けつけてくれた山崎さん。手作りのプロパン風よけを2個持参して頂き、お陰様で2日間火も消えることなく無事終わる事が出来ました。あっぱれ²
- 小椋さんの雨どい作成のお陰で、朝方2日間の雨降りにもかかわらずテント内のテーブルの上など雨の影響なく作業が出来ました。

あっぱれ³

- 打ち場では吉田打ち手検査官を中心に、練り機担当 青木さんを中心に数多くのそばを練り、そば打ち班、成田さん指示のもと、1日目50玉（翌日分7舟）、2日目51玉。大入袋を目指し打っていただきました。あっぱれ³
- 急遽、汁の担当となりました塚越さん、森下さん、準備日のプロパン設置に時間が遅くなり温泉に入らず汁作りをして頂きました。お客様からも評判高い汁作りお疲れ様でした。あっぱれ²
- 居上さんを中心に過去最高のお客様をさばいた受付・会計、品数（4種類）限定でも大忙しの盛り付けの皆さん、休み無しでそばを量り、冷温とさばいておりました。あっぱれ²

- ・ 小椋さん、松本さんを中心に 2 日間暑い天候と、プロパンの熱さで汗をふきふき、ソバをゆで上げた釜前の皆さまお疲れ様でした。

あっぱれ²



- ・ 居上隊長を先頭に早朝先発隊として幌加内に向かいました皆様いろいろな下準備をして頂き有難うございます。あっぱれを付けたいところですが、先発隊にやって頂きたいことが一つありました。ビールケースを事前に冷蔵庫で冷やして頂きたかった残念。喝³
- ・ 打ち方、釜前の仕事を任せられ 2 日間なんとか青息吐息でやり切れましたが、己の体力の無さを痛感致しました。次回に向け体力向上に励みます。木村 喝³
- ・ 飲み物、食べ物を差し入れして頂いた皆様ありがとうございました。あっぱれ
- ・ 吉田さんを中心にお手伝いをして頂いた“分いしかり星置そば道場”の皆さま、お力を貸していただき本当にありがとうございました、助かりました。あっぱれ³
- ・ 最後に 1 日目 955 食、2 日目 1,464 食、トータル 2,419 食、過去最高の記録を達成出来たのは参加されました皆様の力のたまものと思います。あっぱれ⁵

■ 藤 井 哲 夫

“ファイナル 30 年幌加内そば祭りに参加して”

「蕎麦生産量日本一」の地で、30 回の歴史を刻み、昨年鬼籍に入られた藤田・前会長が自前で参加することが悲願であった幌加内そば祭りに、当同好会が参加するようになって、今年で 3 年目。私自身 3 年連続、天婦羅担当として参加し、厳しくも温かい S さんの指導の下、技術も知識も講釈もアップデートさせてもらった。

参加のための緻密な計画と諸準備、何より片道 150 km の移動中における会員の交通事故防止等々、後藤会長を中心として役員皆様のご苦勞は、趣味の世界を超越したものであったと思う。

しかしさすが 3 年の経験を重ねてブラッシュアップし、会員も一致団結し、史上最高と言っても 3 年間ではあるが、2 日間の好天も味方に付け 2400 余食の売り上げがあったと報告する森下事業部長の鼻息が伝わってきそうであった。



私がかつて所属した組織に「〇〇の誓い」という 7 つのキャッチフレーズがあった。全てを紹介する必要も紙幅もないが、私が最も大事と思っていた「どんな役にも誇りを これが我々の組織である」という項目がある。

脚光を浴びる任務も、裏方として支える任務もあって、組織が回り事件が解決するという趣旨である。まさしく蕎麦汁造り、広報、総括指揮、会場設営、賄い、打ち場、窯前、受付、会計、盛り付け、天婦羅、行列最後尾看板の案内、どれが欠

けても成功はおぼつかないものである。最後に毎食バラエティに富む美味しい賄いで、エネルギーを補給してくれた賄い班の皆さんありがとうございました。



青木 耕一

“幌加内新そば祭りには今回で3回目の参加”

＊大人の修学旅行の思い出

・29日（前日）先発隊3名（居上副会長・北村さん・青木）居上副会長宅集合にて6時に仲良く出発（運転手は私）休憩無し

8時過ぎに幌加内町に到着

打ち場の準備を開始し9時過ぎには終了（事前に中村さんが用意して下さいました。感謝感謝）

昼食前にお寺で休憩。

11時に昼食に出かけるが、ターミナルのそば屋は「ギックリ腰」で休日。

近くの食堂は順番待ちで行列！ができており諦めて次の店へ。

そば屋「そばごう」に入り何と注文してから1時間！やっと食するが大変美味しかったです。

1人で営業の為、時間がかかるので張り紙が掲示されておりお客さんは黙って待つのみ・・・冷たいぶっかけ蕎麦900円。詳細はネットで調べて下さい。

昼食後、お寺に集合時間13時。そば祭りの食料・道具等積んだトラックが到着（運転手は木村部長）皆で手際良く搬入。

14時よりお寺住職よりお寺の使用説明「わからないことは聞いてください」の言葉が印象的ですそば打ちも「わからないことは聞く事！」教訓15時よりテント内の準備に取り掛かる。

17時温泉にて疲れを流す！（入浴料500円）

18時楽しみの夕食会 賄いの皆様大変美味しく頂きました（カレー大好評）

20時夕食会終了

20時30分には就寝。



・30日 3時30分起床 4時打ち場にて朝礼 森下部長より2日間で2,000食目標

朝礼後、各自配置場へ

打ち場では8名がそば打ち開始（加水量（率）を決めるために）43.5%に決定。

「練り機」運転開始。1回目加水量（率）誤算で固め、腕が折れそう！の声が・・・

「ファイナル」の花火が8時30分に打ち上げ既に、幌加内高校テントには長い行列が・・・。当会テントには数名が・・・。

大変疲れましたが楽しい疲れの3日間でした。

来年は！

当会の団結力は素晴らしい集団です。

30日、31日の思い出は次回に！

富田 樹 “大人の修学旅行”

自宅（花川）より国道 275 号線をひた走り 150 km。

沼田を過ぎてからは集落もなく、不安にかられながら、山間を抜けるとそば畑の景色が現れ安堵し、宿泊先の西暁寺に着いたのが、幌加内の第一印象でした。

「大人の修学旅行」だよと藤田会長（当時、故人）から誘われたのが初回でした。



美味しいそば、「角が立った四角そば」とはいかず、釜前さんのダメだしを受けないように普段では味あえない緊張感を持って、人様に食していただくそば打ちが経験できたのは、私にとって、技能向上の大きな宝物となりました。

これからも幌加内での楽しく、辛く（腰痛）、達成感を思い出しながら研鑽して参ります。

塚越 智 “幌加内そば祭りに思う”

今年で、幌加内町新そば祭りがファイナルを迎えました。

そば祭りは、今年で 30 回を迎えていました。

私個人的には、第 10 回（平成 15 年（2003 年））大会を見学に行きました。丁度この年、7 月に初段の認定をいただき、幌加内そば祭りにも興味がありました。

会場では、世界そばフェスタ in 幌加内のイベントもあり、全麺協（全国麺類地域間交流推進協議会）の三段位認定会もあり、出店ブースでは、認定を受けた方たちの名前を掲示してデモ打ちをしていたのを見入っていました。

当会は、翌年の第 11 回そば祭りより参加をしました。会も発足したばかりでしたが、当時佐藤会長の号令とともに参加者を募り、今年もお世話になった、西暁寺さんを宿泊場所として、初参加をしました。当時は、10 数名の参加だったと記憶しております。

また、この時期は今のよう暑い夜ではなく、とても寒い幌加内でした。

第 12 回（平成 17 年）時には、朝 3 時過ぎに起きると霜が降りていて一面真っ白で手を凍えさせながら、水回しをしたこともありました。

幌加内そば祭りでは、三段位認定会を開催しており、受験者は朝早くから 3・4 回ほどそばを打ち、その流れで認定会に参加しておりました。



第 15 回（平成 20 年）そば祭りは、記念大会として四段位の認定会も開催されました。当時の四段位は、全国で一か所の認定会で、会場には、



全国各地より四段位受験者が募り、2日間そば打ちにも力が入ります。

私も、この当時は東京に在住しており、鵜の会所属として受験をしました。

試験日が誕生日であり、認定をいただき二重の喜びに浸っておりました。



当会のそば祭り参加は、長年地元の出店業者「白樺」の打ち手として参加をしておりましたが、だんだん自前で出店したいという要望も出て第28回（令和5年）そば祭りからは、「そば工房石狩」で単独出店を果たしました。大変さは、今までの何倍にもなりましたが、その分達成感と責任の重さを感じながら、運営をしました。

2年間出店をし、やっと慣れてきたところに、第30回幌加内町新そば祭りファイナルとなりました。最後は、みんなで頑張ろうと気合も入り、過去にないほどの食数を出すことができました。これは、一重に会の皆さんの結集のたまものであり、今後に向けて大きな自信となります。改めて、皆さんに感謝申し上げます。

私個人としても、このそば祭りを通じて多くの方たちとの出会いもあり、三段位、四段位を幌加内にて認定を受けたことに、感謝いたします。

幌加内町新そば祭り 本当にありがとうございました。

居上 栄

「第30回幌加内そば祭 FINAL」出店を終えて

8月30日（土）AM7:30 天候 曇り時々雨。受付担当で中村さんと「石狩蕎麦工房」テントに向かう。

すでに道路に長蛇の列が目に入る。「幌加内高校」テント前に開店を待つ人々であつた。100人近くいるだろうか？

聞くとところでは、朝5:30頃から待ってた人がいたようだ

8時を過ぎる頃には我テント前にもお客さんが数人並びはじめる。

8時30分開店、同時に受付開始。すでに20～30人は並んでいる。

時が経過するにつれお客さんの列が長くなってきた。会場を見渡すと左右のテント前にも同様の人が並んでいた。



午後1時過ぎ「海老天」完売。

午後2時前に本日目標販売食数を終え営業終了。

8月31日（日）AM7:30 天候 曇時々晴れ。本日は8時営業開始

お客さんの並びは少なかったので、やや「ホッ」と感じる。

それも束の間お客さんの列が長く、長く、長くなっていく。一列では並べず二列、三列となり最後尾が見えない。

11時、12時、午後1時、2時になっても人々の列は変わらない。

「海老天」は完売、そば粉の在庫も底になる。午後3時営業終了。

スタッフ全員疲労こんぱい それでも満足感、達成感も感じられたひと時でもありました。本日の販売食数「1,455」2日間合計 2,409」。

「段取り八分、仕事二分」のことわざがあります。「幌加内そば祭」出店は成功裡に終わりました。出店に向けて各実行委員の準備の努力があったことです。

特に森下事業部長、成田資材部長の方々は、一か月以上前から事前準備に着手し、そば粉からゴミ袋まで準備していただきました。

大変お疲れ様でした

この経験は今後の催事に必ず役に立と思えます。



小 椋 修 次

私が初めて“幌加内町新そば祭り”に参加したのは、三段位に合格した2011年（平成23年）です。

前年に所属していた団体が解散となり、三段位受験をするにあたって所属団体がないので、“ど

うしたのか”と思っていた時、いしかり手打ちそば同好会の方から“うちにおいでよ”と声を掛けられ入会し、翌年の認定会で何とか合格しました。

その年、同好会ではの新そば祭りの参加者を募集していましたので、お世話になったお礼の意味で手を上げました。が、これは建前で、「タダで打てる」、「早く打てるようになりたい」、「お客に出しても恥ずかしくないそばを打ちたい」など、要は「うまくなりたい」が大きな理由でした。



店で釜前をしていた紋別のSさんから「お前のそばは全部使える」と評価されたことが嬉しく、今でも記憶に残っています。

あれから14年経ったのかと感慨深いものがあります。そば打ちの腕が上がったかどうかはわかりませんが、4.5kgの水回し、酔っぱらってのそば談義、ノルマ1日10打、釜前で釜を焦がした、雑魚寝、トマトジュース、ナスの漬物などいろいろ思い出があります。

そう言えば、当時の朝は寒かった（霜?）。近年はあったかい。地球温暖化の影響か!!

椿 雅 美

“幌加内そば祭りに参加して”

とにかく疲れました。自分の老いをひしと感じる今年でした。

会報いしかり



今年は昨年の半分と、打つ回数は減っていたのですが、帰ってきて三日過ぎても背中中の痛みが取れず、近くのマッサージ治療院に行きました。肩甲骨の間の筋肉がコリコリに固まっていて、なかなか取れませんでした。

でも今年は釜前で茹でを先輩方から習い、経験させて頂きました。時折辛かったですが、良い経験をさせて頂き有意義なお手伝いとなりました。



今年で幌加内のそば祭りは終わりと聞いて、寂しい思いもしますが、また違う場面で活躍したいと思います。

皆さん、大変お疲れ様でした。

※ いつまでもあると思うな、若さとお金 !!



打ち上げ“やったね会” (R7.9.20)

■ 作業班

	受付	計量/清掃	厨房	デモ
10月	1班	3班	4班	2班
11月	4班	2班	3班	1班
12月	3班	1班	2班	4班
1月	2班	4班	1班	3班

■ イベント情報 (○は当会事業)

月	日	イベント名	場所
10月	4日	○ 市民そば打ち教室5	
10月	5日	初・二段位認定会	東神楽町
10月	11日	○ 例会	
10月	12日	そば打ち技術向上研修会(四段位)	北竜町
10月	18日	○ 新米・新そばフェア	さとらんど
		○ 石狩市民文化祭	南コミセン
		三段位認定会(十勝蕎麦倶楽部)	新得町
10月	19日	○ 新米・新そばフェア	さとらんど
		○ 石狩市民文化祭	南コミセン
		三段位認定会(十勝蕎麦倶楽部)	新得町
10月	25日	○ 第五町内会そば打ち体験	石狩南3条会館
		世界そば打ち名人グランプリ大会	富山県
10月	26日	○ 例会/役員会	
		五段位そば道全国大会	富山県
11月	1日	○ 市民そば打ち教室6	
11月	2日	○ サッポロさとらんどそば教室	さとらんど
11月	5日	○ サッポロさとらんどそば教室	さとらんど
11月	8日	○ 例会	
		地方審査員審査技術研修会	北広島市
11月	9日	○ サッポロさとらんどそば教室	さとらんど
		北海道支部そば大学	北広島市
11月	12日	○ サッポロさとらんどそば教室	さとらんど
11月	15日	○ まちフェスいしかり	石狩市
11月	16日	○ まちフェスいしかり	石狩市
		○ サッポロさとらんどそば教室	さとらんど
		四段位認定会	北竜町
11月	19日	○ サッポロさとらんどそば教室	さとらんど
11月	22日	○ 第一町内会そば打ち体験	コスモス会館
		五段位本審査会	大阪市
11月	23日	五段位本審査会	大阪市
		○ 例会/役員会	
11月	24日	五段位本審査会	大阪市
11月	29日	○ サッポロさとらんどそば教室	さとらんど
		○ OMF そば打ち訪問	札幌市